

Bコース①【介護と仕事の両立推進事業】

取組の実施状況

企業名	幸伸株式会社
所在地	東京都台東区千束二丁目8番10号
業種	製造業
常用労働者数	8人
事業内容	下げ札、洗濯ネームの製作・販売
ホームページ	https://www.koshin-taito.co.jp/company.html
1 ニーズ調査	
①実施日	令和4年8月26日
②方法	アンケート用紙を配布し回答後回収、集計
③回収率	対象者（都内全従業員）8名のうち回収数 8名 回収率 100%（回収数／対象者）
④調査結果概要	<p>（調査により明らかになった課題）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在の従業員の介護状況、介護対象者の有無について 全従業員が「介護をした経験がない」と答えている。 ・今後の従業員の介護見込みについて 今後5年間のうちの介護の可能性があるか、という質問に対しては、半数が「介護をする可能性がある」と答えている。 ・就業規則、規程内の介護関係制度に関する認知状況について 勤務先の介護に関する支援制度についてどの程度知っていますか、という質問に対しては、半数以上の従業員が「制度があるかどうか知らない」「制度はない」と答えている。 ・介護と仕事の両立に関する不安について 介護をする可能性があると答えた従業員の内、介護をすることに対して不安を感じている従業員は多く、介護と仕事の両立は出来るか、という質問については、全員が漠然と「わからない」と答えていた。 介護に対しての不安要素としては「公的介護保険制度の仕組みがわからない」「介護がいつまで続くかわからず、将来の見通しを立てにくい」「仕事を辞めずに介護と仕事を両立するための仕組みがわからない」などが多く選ばれているので、具体的にどうしたらいいかわからないことが従業員の不安につながっているのではないかと考えられる。 ・介護が続いた場合の望ましい働き方及び社内制度について 介護することになった場合の働き方については「介護休業や介護のための短時間勤務などの支援制度を利用しつつ、できるだけ普通に働き続けながら、仕事と介護を両立する」という答えが圧倒的に多かった。従業員全員が、社内のコミュニケーションは円滑であると答えているので、社内で話し合い、従業員が介護を担う時に、安心して介護と仕事の両立が出来るような社内制度を、会社全体で考えていきたい。

2 プロジェクトチームの設置及び運営状況				
①設置日	令和4年9月13日			
②メンバー	総計 3名（うち都内勤務の従業員 2名） （メンバー内訳）代表取締役、正社員2名			
③運営状況	開催日	開催時間	検討内容	参加者数
	9月13日	10:00~10:10	活動内容及びスケジュールの確認	3名
	9月13日	10:10~10:25	調査結果概要説明、取組案の提示	3名
	9月13日	10:25~10:45	取組案について意見交換、確定	3名
3 策定した取組計画（内容及び取組時期）				
令和4年10月～	介護の公的な制度について、掲示などで年に1回情報提供する			
令和5年 1月～	自社の介護休暇・介護休業の制度や申請方法について、掲示などで年に1回情報提供する			